



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO2025

<ご参考>

【登壇者プロフィール】（敬称略）

<プレゼンテーション>



駐日アラブ首長国連邦特命全権大使

シハブ アフメド モハメド アルファヒーム

1977年アブダビ首長国アル・アイン市出身。ザイド大学にて、外交/国際関係修士号を取得し、UAE ナショナルディフェンスカレッジにて、戦略安全保障修士号を取得。アブダビ国営石油会社、アブダビイスラミック銀行に在籍した後、アブダビ皇太子府にて副儀典長に就任。外務国際協力省にて、外務大臣付メディア担当参事官、儀典担当次官補を経て、2021年、駐日アラブ首長国連邦特命全権大使に就任。

<パネルディスカッション>

●モデレーター



学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 学長

田中 里沙（たなか りさ）

広報・広告・マーケティングの専門誌「宣伝会議」編集長、取締役編集室長を経て、2016年より学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学学長。新規事業、事業承継、地方創生の研究および共創による人材育成に取り組む。環境省「クールビズ」ネーミング、東京2020エンブレム、2025年大阪・関西万博キャラクターデザイン等の審査員。情報番組のコメンテーターとしても活動。

●パネリスト ※50音順



大阪・関西万博 会場運営プロデューサー

石川 勝（いしかわ まさる）

（株）シンク・コミュニケーションズ代表取締役。プランナー。大阪市立大学客員教授。1963年札幌市生まれ。博覧会や展示会を数多く手掛け、2005年愛知万博ではチーフプロデューサー補佐として基本計画策定に従事、ロボットプロジェクト、愛・地球広場、極小IC入場券をプロデュース。ロボット分野、コンテンツ技術分野に専門性を持ち、2006年から2016年までの10年間、東京大学IRT研究機構プロジェクトマネージャー・IRTコンテンツ部門長。



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO2025



inochi WAKAZO Project WAKAZO 副代表

小島 祐依 (こじま ゆい)

inochi WAKAZO Project WAKAZO 副代表。日本医科大学医学部 2 年。Vision Hacker Awards 2021 シード部門ファイナリスト。現在は WAKAZO*でヘルスケア分野におけるデータ共有を促す仕組み「inochi のペイフォワード」の実証に向け活動中。全てのいのちが守られ、輝く社会を若者・ヘルスケアの視点から考え、多方面に活動している。

*WAKAZO は inochi WAKAZO Project のプロジェクトチーム



Photo by Muryo Honma (Rhizomatiks)

パノラマティクス 主宰/PLL クリエイター

齋藤 精一 (さいとう せいいち)

建築デザインをコロンビア大学建築学科 (MSAAD) で学び、2006 年株式会社ライゾマティクス設立 (現: 株式会社アブストラクトエンジン)。「パノラマティクス」を主宰し、行政や企業などの企画、実装アドバイザーも数多く行う。2018-2021 年グッドデザイン賞審査委員副委員長。2020 年ドバイ万博 日本館クリエイティブ・アドバイザー。2025 年大阪・関西万博 PLL クリエイター。



一般社団法人 SWITCH 代表理事

佐座 槇苗 (さざ まな)

1995 年生。ロンドン大学大学院 サステナブル・ディベロプメントコース在学中。2021 年、循環型社会づくりに取り組む、一般社団法人 SWITCH を設立。COP26 日本ユース代表。Mock COP26 グローバルコーディネーター。Ellen MacArthur Foundation 「Linear to Circular Young Professionals」2021 選抜メンバー。